

2022 春季生活闘争 闘争開始宣言

私たちの未来を変えることができるのは、私たち自身である。

コロナ禍は未だ収束を見ないが、20 年以上にわたる賃金水準の低迷や不安定雇用の増大、中間層の縮小など、傷んだくらしと雇用、そして労働条件をこれ以上放置することはできない。

この状況を打破するためには、経済成長や企業業績の後追いではなく、経済・社会の原動力となる「人への投資」こそ必要である。

賃上げと働き方の改善によって働く者の能力・意欲を向上させ、消費拡大を通じて経済の好循環を実現することで希望ある未来をつくる「未来づくり春闘」を進めていく。

今こそ、私たち労働組合の出番である。すべての労働組合が要求し交渉することこそが、労働組合のない職場も含めすべての働く者の雇用・労働条件を引き上げ、社会全体の未来をより良いものにする。まさに「みんなの春闘」がいま、必要とされている。

県内の労働組合組織率は 14.4% (33,409 人)、そのうち 82.4% (27,524 人) が連合鳥取に結集している。県内すべての労働者の労働諸条件の底上げにつながる取り組みとなる諸活動を先頭に立って展開し、賃上げの広がりを持続性を求め、地域春闘のリーダーシップをとることが重要である。

私たちは、これまで積み上げてきた春季生活闘争の流れを継続しつつ、将来基盤を築いていくためにも、組織内だけでなく、すべての働く者の処遇改善につながる「みんなの春闘」に果敢に挑戦していく。

「未来をつくる。みんなでつくる。」をスローガンに、「働くことを軸とする安心社会」に向けて舵を切ろう！

連合鳥取は、ここに 2022 春季生活闘争の開始を宣言する。

2022 年 2 月 7 日

連合鳥取「2022 春季生活闘争・闘争開始宣言」